

陳 情 文 書 表

(令和5年12月1日)

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第42号(5.11.24) 王子公園再整備基本計画(案)に関する陳情
陳情の要旨	1. 王子公園への大学誘致を最優先課題とする王子公園再整備基本計画(案)を撤回し、改めて市民と協議の場を設け、動物園の敷地面積を十分に確保し王子動物園の魅力向上につながる基本計画の策定をすること。
陳情者の住所及び氏名	神戸市東灘区 蔵原 詩織
送付委員会	都市交通委員会

2023年11月24日

神戸市会議長

坊 やすなが 様

陳情者：

住所 神戸市東灘区

氏名 蔵原 詩織

電話番号



王子公園再整備基本計画（素案）に関する陳情

陳情趣旨

「王子公園再整備基本計画（案）」は王子動物園の整備後イメージを明らかにしました。飼育する動物の種類を大きく削減し生態展示にするほか、遊園地を廃止してアスレチック施設を設けるなど、現在の動物園から大きく姿を変えるものです。その策定にあたっては、市民や動物園サポーターの参画の場や有識者ヒアリングも実施したとなさっていますが（動物園編1頁）、動物園ブックショップでは再整備計画そのものや飼育動物・獣舎に関することは議論のテーマから外され審議できず、参加者は園内の快適な環境づくりや広報など、二次的なテーマの議論を求められました。

市民が憩い、学ぶ場である動物園のあり方を大きく変える再整備事業にもかかわらず、その計画策定過程において、ワークショップでは市民が動物福祉について議論し理解を深める機会を得られなかったことが残念でなりません。遊園地や施設配置についての議論は、動物福祉のみならず、利用者の視点も欠かせないと感じるからです。

さらに、王子公園全体の再整備は動物園の周囲の景観や通風も大きく変えるため、来園者の目から見て「動物園の魅力向上」につながるとは到底考えられません。であるにもかかわらず、動物園ワークショップで出された意見等がこの基本計画（案）策定の根拠のひとつに位置付けられていることに、納得できません。市民の参画をもとに基本計画を策定するなら、市民に十分な情報開示をし、神戸市と市民が飼育スタッフなど現場で関わる方々と学び合う場こそが必要であると考えます。

陳情事項

王子公園への大学誘致を最優先課題とする王子公園再整備基本計画（案）を撤回し、改めて市民と協議の場を設け、動物園の敷地面積を十分に確保し王子動物園の魅力向上につながる基本計画の策定を求めます。

以上

王子公園再整備基本計画（案）に関する陳情

陳情第42号

都市局

陳 情 要 旨 等	
陳情者	神戸市東灘区 蔵原 詩織
陳情要旨	<p>【陳情第42号】</p> <p>1. 王子公園への大学誘致を最優先課題とする王子公園再整備基本計画（案）を撤回し、改めて市民と協議の場を設け、動物園の敷地面積を十分に確保し王子動物園の魅力向上につながる基本計画の策定をすること。</p>
陳 情 に 対 す る 神 戸 市 の 考 え 方	
<p>王子公園の再整備にあたっては、公園内の施設を適切に維持・更新し、将来の世代へ確実に継承するため、今ある施設をそのまま更新するのではなく、持続可能な神戸の発展に向けて、王子公園エリアの「新たな価値」を創出することが不可欠です。</p> <p>これらのことから、地域に開かれた競争力の高い大学の誘致に取り組むこととし、市民や議会の意見を踏まえた基本方針（素案）の見直しや市民との意見交換会など、丁寧な説明や意見聴取を重ね、基本方針を策定（令和4年12月）しました。大学誘致は不可欠だと考えています。</p> <p>動物園についても、位置を大きく変更することなく、現在と同程度の敷地面積を確保するとともに、新たな展示方法の導入など魅力の向上や、動物福祉に配慮した施設の更新を行っていくこととしています。</p> <p>また、基本計画（案）の策定にあたっては、市民ヒアリングや動物園ワークショップ、アンケート等により、市民のみなさまからご意見を伺いながら検討を進めてきたところであり、今後も引き続き、適宜、再整備に関する情報を発信し、様々な機会を通じて市民のご意見を伺いながら事業を進めていきます。</p>	